

# 筆記試験

令和4年度（42回）熊本県トラックドライバーコンテスト試験問題

## 交通法規

解答用紙に正しいと思うものについては解答欄の正を、誤っていると思うものについては解答欄の誤をぬりつぶして下さい。

- | No. | 問 題  |
|-----|--|
| 1   | 前方の信号が赤色の灯火の点滅の場合は、歩行者と車や路面電車は、停止位置で一時停止して安全を確認してから進行しなければならない。                                      |
| 2   | 免許の区分は、「第一種免許」、「第二種免許」の二つに区分される。   |
| 3   | 交通整理の行われていない左右の見通しのきかない交差点を通行する時は、優先道路を通行している場合であっても必ず徐行しなければならない。（環状交差点を除く）                         |
| 4   | 車は、道路に面した場所に入り出すため、歩道や路側帯を横切るときには歩行者がいてもいなくても、その直前で一時停止して進行しなければならない。                                |
| 5   | 安全地帯のない停留所に路面電車が止まっていて乗り降りする人がいない時、路面電車との間に1.5メートル以上の間隔を保つ事が出来る場合は徐行して進む事が出来る。                       |
| 6   | こう配の急な下り坂は、追い越し禁止場所であるが、こう配の急な上り坂は追い越し禁止場所ではない。  |
| 7   | 免許が失効した日から起算して6ヶ月以内であれば、技能試験と学科試験が免除され、適性試験に合格すれば新しい免許証の交付が受けられる。                                    |
| 8   | 車は交通整理の行われていない道幅が同じような道路の交差点では左方から進行してくる車の進行を妨げてはならない。   |
| 9   | けん引ロープで故障車をけん引する場合、その間隔は、普通自動車は5メートル以内、大型自動車、中型自動車、大型特殊自動車は7メートル以内とし、ロープに0.3メートル平方以上の白い布をつけなければならない。 |
| 10  | 道路交通法の目的とは「道路における危険を防止する」「道路における交通の安全を図る」「道路交通によって起きる障害(交通公害)の防止を図る」である。                             |
| 11  | 大型自動車とは、車両総重量11,000kg以上、最大積載量6,500kg以上、乗車定員30人以上のものである。  |
| 12  | 消火栓、指定消防水利の標識が設けられている位置や、消防用防火水槽の取り入れ口から5メートル以内の場所は「駐停車禁止場所」である。                                     |
| 13  | 本標識には、規制標識、警戒標識、案内標識、補助標識の4種類がある。  |
| 14  | シートベルトは、事故の被害を大幅に軽減するものであるが、長時間使用すると疲労が蓄積されるのでたまにはずした方が疲労が軽減される。                                     |
| 15  | 12歳未満の子供を乗車定員として計算する場合は、子供2人を大人1人として計算する。  |
| 16  | 交差点やその付近で、後方から緊急自動車が接近してきたときは、交差点をさけて車を道路の左側に寄せて一時停止して、進路を譲らなければならない。                                |
| 17  | 車は交通整理の行われていない交差点においては、交差する道路が優先道路であるときや、交差する道路の道幅が広いときは徐行するとともに、交差する道路を通行する車や路面電車の進行を妨げてはいけない。      |
| 18  | 自動車(二輪のものを除く)は、歩道や路側帯のない道路を通行するときは、路肩(路端から0.5m)にはみ出して通行してはならない。                                      |
| 19  | 普通自動車の積載の制限は、全て地上から3.8メートル以下である。<br>(道路、交通の状況により公安委員会が4.1メートルを超えない範囲で高さを定める場合もある)                    |
| 20  | 仮免許の有効期限は、その免許試験を受けた日から起算して3ヶ月である。   |

- 21 免許証を更新しようとする人のうち更新期間の満了する日において65歳以上となる人は、その満了日前の6ヶ月以内において高齢者講習を受けなければならない。
- 22 交差点で、警察官が「止まれ」の手信号をしていたので交差点の直前で停止した。
- 23 夜間やむを得ず道路に駐停車する場合に停止表示器材を置いた場合には、非常点滅表示灯や駐車灯、尾灯などの灯火類はつけなくてもよい。(高速道路を除く)
- 24 初心者マークや聴覚障がい者マークは必ず車に表示しなければならないが、高齢者マークや身体障がい者マークはこの限りではない。
- 25 高速自動車国道の本線車道における最低速度は、通行できる全ての車種で60キロメートル毎時である。(道路の構造上往復の方向別に分離されていない区間を除く)
- 26 酒気帯び運転の違反点数は、呼気中のアルコール濃度が0.15mg/l以上0.25mg/l未満は「13点」、0.25mg/l以上の場合には「25点」となる。
- 27 転回の合図はその行為をしようとする約3秒前に行わなければならない。
- 28 総排気量660cc以下の普通自動車の高速自動車国道の本線車道での最高速度は、100キロメートル毎時である。(三輪、けん引を除く)
- 29 指示標識とは、特定の交通方法を禁止したり、特定の方法に従って通行するよう指定したりするものである。
- 30 車は追越し禁止場所であっても、軽車両は追越すことができる。
- 31 追い越しをする場合に、前の自動車が原動機付自転車を追い越そうとしているときに、その右側部分にはみ出して追い越しをすることができる。
- 32 「環状交差点」とは、車両が通行する部分が環状の交差点であって、道路標識などにより車両が右回りに通行することが指定されているものをいう。
- 33 車の右側の道路上に3.5メートル以上の余地がなくなる場所で駐車してはならないが、例外として荷物の積みおろしを行う場合で運転者がすぐに運転できる状態のときは駐車することができる。
- 34 正面の信号が赤色の灯火で、同時に青色の矢印信号が左へ出たときは、自動車や原動機付自転車は矢印の方向へ進行できるが、軽車両は進行してはならない。
- 35 初心者運転期間が適用されるのは、普通免許、普通二輪免許、原付免許の三種類である。
- 36 車の運転者は、出発地の警察署長の許可を受けたときは荷台や座席でないところに荷物を積んだり、貨物自動車の荷台に人を乗せて運転することができる。
- 37 黄色の灯火の矢印信号は、路面電車に対する信号である。
- 38 警察官や交通巡視員は、危険の防止や交通の安全と円滑を図るために特に必要があれば信号機の信号と違った手信号を行うことがあるが、この場合その警察官や交通巡視員の手信号などには従わなくてはならない。
- 39 左折する時の合図は、左折しようとする地点(交差点で左折する場合は、その交差点)から30m手前の地点に達した時である。
- 40 車は、前方の交通が混乱しているため、踏切や横断歩道、自転車横断帯で動きがとれなくなるおそれがあるときは、これらの場所に進入してはならない。

## 構造機能

- No. 問題
- 41 「空車状態」とは、道路運送車輛が原動機及び燃料装置に燃料、冷却水等の全量を搭載し及び当該車輛の目的とする用途に必要な固定的な設備を設ける等運行に必要な装備をした状態を言う。
  - 42 車両総重量2200kgの貨物自動車は、道路運送車両法において、普通自動車に区分される。
  - 43 普通貨物自動車の後写鏡は、運転者が運転席において、自動車の左右の外側線上後方30メートルまでの間にある車両の交通及び自動車の左外側線付近の交通状況を確認できるものでなければならない。
  - 44 荷台オフセットとは、荷台中心線から後輪の中心線までの距離のことをいう。
  - 45 傾斜時の安定性は、積車状態で左右に35度まで傾けた場合でも転覆しないこととされている。
  - 46 自動車に備えられている「後部上側端灯」は、灯火の色が橙色であり、尾灯が点灯している場合に消灯できない構造でなければならない。
  - 47 自動車の方向指示器は、毎分60回以上・120回以下の一定の周期で点滅するものでなければならない。
  - 48 速度制御装置は、加速装置の操作にかかわらず自動車が100キロメートル毎時を超えて走行しないように燃料の供給を調整するものである。
  - 49 自動車の管理者は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備をすることで自動車を保安基準に適合するように維持しなければならない。
  - 50 バッテリーを取り外す場合、プラス端子から外すようにすると、ショートを防ぐことができる。
  - 51 方向指示器の灯火の色は橙色であり、明るさは、方向の指示を表示する方向100メートル(告示で定める自動車にあっては30メートル)の距離から昼間において点灯を確認できるものであり、かつ、その照射光線は、他の交通を妨げないものであること。
  - 52 自動車の幅は2.50メートルを超えてはならない。
  - 53 エンジンオイルは、夏季には冬季よりもSAE粘度番号の小さいものを一般に使用する。
  - 54 タイヤの空気圧が不足すると、偏磨耗や損傷を引き起こし、タイヤの寿命を縮めるとともに、燃費が悪化する。
  - 55 バッテリー2個を直列に接続すると、電圧は2倍になり、容量は同じである。
  - 56 自動車の排気管から発散する排気ガスの向きは、車両の中心線に対し左右45度以内である。
  - 57 エキゾースト・ブレーキ(排気ブレーキ)とは、エキゾーストパイプ内にバルブを設け、これを閉じて排気行程における抵抗を増大させるので、エンジン・ブレーキの一種である。
  - 58 自動車は、空車状態及び積車状態におけるかじ取車輪の接地部にかかる荷重の総和が、それぞれ車両重量及び車両総重量の18%以上でなければならない。
  - 59 エアブレーキ車において、ブレーキライニングが減ってくると、エアの消費が多くなる。
  - 60 バッテリーの充電は、液を補充する前に行ったほうがよい。

## 運 転 常 識

解答用紙に正しいと思うものについては解答欄の正を、誤っていると思うものについては解答欄の誤をぬりつぶして下さい。

- | No. | 問 題  |
|-----|--|
| 61  | 自動車が走行すると、排気管やタイヤ等から走行騒音を発生するとともに周辺道路にも振動を与えることとなるが、これらは自動車の速度が遅いほど、また、自動車の重量が重いほど大きくなる。                                     |
| 62  | 睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に呼吸が止まった状態が断続的に繰り返される病気で、睡眠不足から運転中に強い眠気を感じる状態になることから、運転の仕事が続けていくためには、早期に医師の治療を受ける事が必要不可欠である。                   |
| 63  | 車を運転中に大地震が発生し、やむを得ず車を道路上に置いて避難するときは、道路の左側に寄せて駐車し、エンジンを止め、エンジンキーは付けたままとするか、運転席などの車内の分かりやすい場所に置き、窓は閉めドアはロックする。                 |
| 64  | 連続運転時間(1回が連続10分以上かつ合計が30分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間)は3時間を超えてはならない。  |
| 65  | 自動車がカーブを走行するときは、自動車の重心に遠心力が働くため、荷物の積み方が悪い場合、重心の位置が高くなったり、片寄ったりするので自動車は倒れやすくなる。   |
| 66  | 乗務を終了して他の運転者と交替するときは、交替する運転者に対し、当該乗務に係る業務用自動車道路及び運行の状況について通告する。  |
| 67  | 夜間 対向車のライトを直接目に受けると、まぶしさのため一瞬見えなくなることがある。これを蒸発現象という。   |
| 68  | 運転行動上の事故原因で「判断の誤り」が最も多く、次いで「認知の遅れ」「操作の誤り」の順に多い。  |
| 69  | 深夜業務に携わる運転者については、6ヶ月に1回医師の健康診断を行わなければならない。   |
| 70  | フェード現象とは、下り坂でフットブレーキを使用しすぎたため起こる現象である。   |
| 71  | 燃料消費率とは、燃料1ℓ当たりの走行距離のことをいい、 $\text{燃料消費率} = \text{走行距離} \div \text{使用した燃料の量}$ で求められる。  |
| 72  | モーダルシフトとは、交通渋滞の緩和のため、通勤等に使用されている自動車等を郊外のバス停に設けた駐車場に停車させ、そこから鉄道や路線バス等の公共交通機関に乗り換えて移動する方法のことで渋滞緩和だけでなく二酸化炭素などの削減効果も期待できるものである。 |
| 73  | 運転時間は2日(始業時刻から起算して48時間をいう)を平均し、1日当たり9時間、2週間を平均し、1週間当たり45時間を超えないものとする。  |
| 74  | 踏切内では、変速しないで発進したときの低速ギアのままで進行し、対向車に注意しながらできるだけ左端を通るようにする。  |
| 75  | 高速でトンネルに入ると、視力が急激に低下するので、あらかじめ手前で速度を落とす。   |
| 76  | 労働時間が8時間を超える場合においては少なくとも45分の休憩時間が必要である。  |
| 77  | エコドライブとは、駐停車中のアイドリングストップや、急発進、急加速を避けた等速運転などを励行することをいう。   |
| 78  | 運転免許を受けた者に対し、免許の仮停止をしたときは、当該処分をした日から起算して7日以内に処分を受けた者に対し弁明の機会を与えなければならない。   |
| 79  | 初めて自動車検査証の交付を受ける車両総重量7.800キログラムの貨物の運送の用に供する自動車については、その有効期間は1年である。  |
| 80  | 指定自動車整備事業者が交付した有効な保安基準適合標章を自動車に表示している場合であっても、自動車検査証を備え付けなければ当該自動車を運行の用に供してはならない。   |

## 第42回熊本県トラックドライバー・コンテスト学科競技解答

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	問 20
×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×

問 21	問 22	問 23	問 24	問 25	問 26	問 27	問 28	問 29	問 30	問 31	問 32	問 33	問 34	問 35	問 36	問 37	問 38	問 39	問 40
×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

問 41	問 42	問 43	問 44	問 45	問 46	問 47	問 48	問 49	問 50	問 51	問 52	問 53	問 54	問 55	問 56	問 57	問 58	問 59	問 60
○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×	○	×

問 61	問 62	問 63	問 64	問 65	問 66	問 67	問 68	問 69	問 70	問 71	問 72	問 73	問 74	問 75	問 76	問 77	問 78	問 79	問 80
×	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×